

10月のできごと まちかど クリップ

白老町で音楽祭 子どもたちが演奏や歌を披露

白老コミュニティセンター（白老町本町1）で10月20日、「第41回白老町音楽祭」が開かれました。

白老小鳩保育園の年中組の和太鼓演奏で幕を開け、白老さくら幼稚園の年中組の歌とメロディベル演奏、緑丘保育園の器楽演奏などが続き、後半には白老中学校と白翔中学校が合唱と、2校の吹奏楽部による合同演奏などが披露されました。

会場に詰め掛けた保護者や町民らは、練習の成果を元気いっぱいに披露する園児や生徒たちに、大きな拍手を送っていました。



▲白老小鳩保育園年中組の和太鼓演奏

北中央通り商店会でスタンプラリー

苫小牧市の北中央通り商店会（日高浩一会長）は13日、「北中央通り商店会 みんなあつまれ！スタンプラリー」を開催しました。

双葉三条通り沿いの、双葉町と住吉町の間にある商店会。スタンプラリーは商店会を多くの市民に知ってもらおうと、2013年から毎年秋に行っています。6回目を迎える今回は、この日に祭りを開いている市住吉コミュニティセンター（住吉町）も初めて加わり、24店舗が参加しました。

参加店舗に置いてある専用用紙に各店のスタンプを押印し、10個以上集めると、次回から同商店会で使える商品券が抽選で当たるというルール。買い物の有無に関わらず押印してもらうことができ、24店全店制覇すると500円の商品券がもれなく贈られるとあって、約400人の地域住民らが商店会を歩いて回りました。

同会の日高浩一会長は「イベントに向けたセールを開いたお店もあり、皆さんに楽しんでもらえてうれしい」と笑顔で話していました。



▲スタンプラリーを楽しむ子どもたち

石に自由に絵を描こう！ 勇武津資料館で生活体験教室

苫小牧市勇払132の勇武津資料館で10月27日、生活体験教室「石絵を描こう」が行われました。

同館の職員が海岸などで拾ってきた石に、アクリル絵の具で好きな絵を描く教室。参加者たちは、石の形から連想するものや、石の持つ色を生かしたものなどを自由に描いて楽しみました。

桜木町から参加した小松富佐子さん（71）は「前回、勇払海岸の漂流物調査の時も面白かったので、今回も参加しました。絵を描くなんて何年ぶりだろうと考えながら楽しみました」と笑顔で話していました。



▲石絵を楽しむ参加者

豊川コミセンまつり ステージや作品展示楽しむ



▲元気な演奏を披露した豊川小吹奏楽同好会

苫小牧市豊川コミュニティセンター（豊川町3）の「第37回コミセンまつり」が20、21日の両日、同センターで開かれました。センターで活動するサークルが歌や演奏、踊りなどを披露するほか、作品展示などを行いました。

ステージでは28サークルが日ごろの練習の成果を發揮し、詩吟やコーラス、フラダンス、吹奏楽などを発表しました。苫小牧豊川小学校吹奏楽同好会は「Y.M.C.A」やDA PUMPの「U.S.A」などを演奏。踊りも交え、会場を盛り上げました。

10団体の文化サークルは絵手紙や水彩画、書道などを展示し、来場者は1点1点の作品にじっと見入っていました。



▲様々な力作を展示